

# 宅地建物取引士資格登録簿 変更登録申請書

宅地建物取引業法第20条の規定により、下記の事項について変更の登録を申請します。

令和 年 月 日

静岡県知事 殿

申請者 氏 名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

生年月日 M・T・S・H \_\_\_\_\_ 年 月 日 \_\_\_\_\_

受付番号	受付年月日	申請時の登録番号
* _____	* _____	2 2 _____

項番

◎申請者に関する事項

11

変更年月日	_____年 _____月 _____日
変更後	フリガナ _____
	氏 名 _____

↑	変更前	フリガナ _____	確認欄 *
		氏 名 _____	

12

変更年月日	_____年 _____月 _____日	
変更後	郵便番号	_____
	住所市区町村コード	_____ 都道府県 _____ 市郡区 _____ 区町村
	住 所	_____
	電話番号	_____

↑	変更前	住所	_____	確認欄 *
---	-----	----	-------	----------

13

変更年月日	_____年 _____月 _____日	
変更後	本籍市区町村コード	_____ 都道府県 _____ 市郡区 _____ 区町村
	本 籍	_____

↑	変更前	本籍	_____	確認欄 *
---	-----	----	-------	----------

◎業務に従事する宅地建物取引業者に関する事項

14

変更年月日	_____年 _____月 _____日	
変更後	商号又は名称	_____
	免許証番号	_____ ( ) _____

↑	変更前	商号又は名称	_____	確認欄 *
		免許証番号	国土交通大臣 ( ) 第 _____ 号	

備考

- ① 申請者は、\*印の欄には記入しないこと。
- ② 登録を受けている事項のうち、変更があったものについてのみ記入すること。
- ③ 「申請時の登録番号」の欄は、登録を受けている都道府県知事については、下表より該当するコードを記入すること。ただし、北海道知事の登録を受けている場合には、51～64のうち該当するコードを記入すること。また、登録番号に「選考」とある場合にのみ最後の□に「1」を記入すること。

(記入例) 

2	2
---	---

 — 

			1	0	0
--	--	--	---	---	---

 — 

--

 [静岡県知事登録第000100号の場合]

00	国土交通大臣	16	富山県知事	32	島根県知事	51	北海道知事(石狩)
		17	石川県知事	33	岡山県知事	52	北海道知事(渡島)
02	青森県知事	18	福井県知事	34	広島県知事	53	北海道知事(檜山)
03	岩手県知事	19	山梨県知事	35	山口県知事	54	北海道知事(後志)
04	宮城県知事	20	長野県知事	36	徳島県知事	55	北海道知事(空知)
05	秋田県知事	21	岐阜県知事	37	香川県知事	56	北海道知事(上川)
06	山形県知事	22	静岡県知事	38	愛媛県知事	57	北海道知事(留萌)
07	福島県知事	23	愛知県知事	39	高知県知事	58	北海道知事(宗谷)
08	茨城県知事	24	三重県知事	40	福岡県知事	59	北海道知事(網走)
09	栃木県知事	25	滋賀県知事	41	佐賀県知事	60	北海道知事(胆振)
10	群馬県知事	26	京都府知事	42	長崎県知事	61	北海道知事(日高)
11	埼玉県知事	27	大阪府知事	43	熊本県知事	62	北海道知事(十勝)
12	千葉県知事	28	兵庫県知事	44	大分県知事	63	北海道知事(釧路)
13	東京都知事	29	奈良県知事	45	宮崎県知事	64	北海道知事(根室)
14	神奈川県知事	30	和歌山県知事	46	鹿児島県知事		
15	新潟県知事	31	鳥取県知事	47	沖縄県知事		

- ④ 「変更年月日」の欄は最初の□には元号のコードとして「H」を記入するとともに、□に数字を記入するにあたっては、空位の□に「0」を記入すること。

(記入例) 

H
---

 — 

0	5
---	---

 年 

1	1
---	---

 月 

3	0
---	---

 日 [平成5年11月30日の場合]

- ⑤ 氏名の「フリガナ」の欄は、カタカナで姓と名の間に1文字空けて左詰めで記入し、その際、濁点及び半濁点は1文字として扱うこと。また、「氏名」の欄も、姓と名の間に1文字空けて左詰めで記入すること。
- ⑥ 「住所市区町村コード」の欄は、都道府県の窓口備付けのコードブック（総務省編「全国地方公共団体コード」）により該当する市区町村のコードを記入すること。
- ⑦ 「住所」の欄は、⑥により記入した住所市区町村コードによって表される市区町村に続く町名、街区符号、住居番号等を、「丁目」「番」及び「号」をそれぞれ—（ダッシュ）で区切り、上段から左詰めで記入すること。

(記入例) 

震	が	関	2	—	1	—	3
---	---	---	---	---	---	---	---

- ⑧ 「電話番号」の欄は、市外局番、市内局番、番号をそれぞれ—（ダッシュ）で区切り、左詰めで記入すること。

(記入例) 

0	3	—	5	2	5	3	—	8	1	1	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- ⑨ 「本籍市区町村コード」の欄は、都道府県の窓口備付けのコードブック（総務省編「全国地方公共団体コード」）により、本籍地の所在する市区町村のコードを記入すること。なお、外国籍の場合には、

9	9	0	0	0	0
---	---	---	---	---	---

と記入すること。

- ⑩ 「本籍」の欄は、⑨により記入した本籍市区町村コードによって表される市区町村に続く町名、街区符号、住所番号等を、戸籍のとおり、上段から左詰めで記入すること。なお、外国籍の場合には記入しないこと。

(記入例) 

震	が	関	式	丁	目	壹	番	参	号
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- ⑪ 「商号又は名称」の欄は、上段から左詰めで記入すること。
- ⑫ 「免許証番号」の欄は、免許権者については、上記③の表より該当するコードを記入すること。

ただし、免許権者が北海道知事である場合には、51～64のうち該当するコードを記入することとし、信託会社及び信託業務を兼営する銀行については、(記入例) ①に従うこと。また、変更後において、業務に従事しようとする宅地建物取引業者が新規免許申請中の場合は、記入しないこと。

(記入例) ㉗ 

0	0
---	---

 (5) 

			1	0	0
--	--	--	---	---	---

 [国土交通大臣(5)第100号の場合]

① 

9	9
---	---

 ( ) 

				5	0
--	--	--	--	---	---

 [国土交通大臣届出第50号の場合]

## (住所市区町村コード、本籍市区町村コード一覧)

(市部)		沼津市	222038	下田市	222194	松崎町	223051
静岡市		熱海市	222054	裾野市	222208	西伊豆町	223069
葵区	221015	三島市	222062	湖西市	222216	田方郡	
駿河区	221023	富士宮市	222071	伊豆市	222224	函南町	223255
清水区	221031	伊東市	222089	御前崎市	222232	駿東郡	
浜松市		島田市	222097	菊川市	222241	清水町	223417
中区	221317	富士市	222101	伊豆の国市	222259	長泉町	223425
東区	221325	磐田市	222119	牧之原市	222267	小山町	223441
西区	221333	焼津市	222127	(郡部)		榛原郡	
南区	221341	掛川市	222135	賀茂郡		吉田町	224243
北区	221350	藤枝市	222143	東伊豆町	223018	川根本町	224294
浜北区	221368	御殿場市	222151	河津町	223026	周智郡	
天竜区	221376	袋井市	222160	南伊豆町	223042	森町	224618